

極

める、仕事の喜び

三芳合金工業(株)

三芳合金工業(三芳町)は、技術力が海外からも注目される特殊銅合金メーカー。また、定年後の継続雇用にも積極的です。萩野源次郎社長はこう話します。

「多様な人材がいることで、課題解決へ多様なアプローチができる。雇用を継続するのは、世代の多様性を失うデメリットを理解しているから」。

藤田豊治さん(81歳)は定年後に電気技術を学び、今も現役です。「仕事こそが生きがい」とか。「良い物をつくることに定年はない」と言い切る黒岩孝志さん(71歳)に、嘶家である私は特に共感しました。芸も技術も日々が進が大事。落語界では50、60歳でもまだ若手といわれます。



▲製品は航空機にも使われる



技術者も同じで、70歳を超えてもまだ「奥が深い」と明言する生き方に惹かれます。

川口久雄さん(75歳)は「仕事をしていない自分を想像できない」と言います。定年後、自由な時間を過ごししている友人に憧れつつも、働ける喜びを感じています。

体調を崩した経験のある今多正義さん(73歳)は言います。「多くの人に助けてもらって復帰できた。仕事で体を動かすことが健康にもつながる。それに、まだまだ技術を磨いて稼ぎたい」。

聞けば、皆さんは趣味もしっかり持っています。山歩きに美術館巡り、カラオケなどと実に多彩です。技術を極めるには、人生にメリハリが必要なのかも。これも芸に通じます。